

写真は昭和六十三年に椎田道路築城インターの建設に先立ち発掘調査が行われた安武・深田遺跡で出土した鳥が描かれた土器です。脚の部分をよく見ると水かきが付いていることから水鳥だと推定されます。

安武・深田遺跡は弥生時代中期から古墳時代にかけての大集落跡で、特に弥生時代中期（二〇〇〜一九〇〇年前）の鍛冶工房跡は全国的にも最古段階のもので大変貴重です。その工房建物跡から鉄製品と共に出土したのがこの水鳥を描いた土器です。土器の形状が現在の岡山県付近の遺跡で出土するものと大変似通っていることから、当時、瀬戸内海を介して吉備地方の影響を受けた人々が鍛冶を行っていたことが考えられます。

さて、この水鳥ですが皆さんは何だと思いませんか。私はこの絵を見ていて、田の中でよく見かけるシラサギではないかと考えました。シラサギは豊後国風土記で豊前・豊後に分かれる前の「豊国」の地名の由来ともなった鳥です。

白鳥が飛んできて餅になり、その様子を見た天皇が「豊かな国なり」と言ったため「豊国」と呼ばれるようになったというものです。ここでいう白鳥はシラサギだと考えられます。どこからともなく飛んできて田の中をエサを求めて動き回る様子を見てい

て、なるほど餅のようにも見えるなと思いました。

現在、この水鳥の描かれた土器をはじめ、貴重な弥生時代の文化財を多数集めた『金属文化の源流 弥生時代展』が船迫窯跡公園体験学習館で好評開催中です。

（会期：十二月八日まで）
ぜひ、ご自分の目でこの水鳥が描かれた土器をご覧になってみてください。何か新たな発見があるかもしれませんよ。（文化財保護係 馬場克幸）



▲水鳥が描かれた土器
（九州歴史資料館所蔵）

船迫窯跡公園に
▼飛来したシラサギ



NPO法人しいだコミュニティ倶楽部からのお知らせ

●しいコミ囲碁・将棋大会参加者募集について

日時 12月1日（日） 受付 9:00～
場所 中央公民館2階和室
対象 しいコミ会員／築上町町民／町内勤務者
参加費 会員 1,000円／会員外 1,500円
小中学生 500円
定員 囲碁の部 32名 将棋の部 32名
切 11月22日（金）
申込 申込書に参加費を添えて
しいコミ事務局まで申込みください。

●2013 しいコミスポーツまつり開催

10月19日 参加者約80名
体力テストや、レクレーション大会など
楽しい「スポーツの1日」を過ごしました！



◀イスを使っ
ての
ストレッチ指導

投稿のひろば

第3回メタセの杜杯パークゴルフ大会のお知らせ

日時 11月23日（土）※小雨決行
会場 築上町パークゴルフ場
主催 築上町物産館メタセの杜
競技方法 36ホールストロークプレー
参加費 600円（プレー代300円を含む）

定員 72名 ※定員になり次第締切り
申込期限 11月13日（水）
申込受付 築上町パークゴルフ場
問い合わせ 築城海洋センター 52-2780